

原水禁世界大会 2025

戦後80年、被爆体験を継承して 世界の人と共同で核兵器なくそう

2025年8月4日～6日、被爆80年原水爆禁止2025年世界大会・広島が開催されました。4日「広島のつどい」には2000人が参加、オンラインでは全国で600人が視聴し、6日「ヒロシマデー集会」には、2800人が参加、750人が視聴しました。

未来につなぐ 被爆体験

4日の「広島のつどい」では、被爆者の証言の時間が1時間半設けられ、大会自体が「被爆体験の継承」の場となりました。

矢野美耶古さんは、女学生だった8月6日当日、腹痛で家にいて生き残りました。その日、作業に出た先生10人と1・2年生541人が犠牲となりました。学校で行われた慰霊祭で、友達のお母さんから「はじめに行った者が死んで、サポート者が生き残っている。あなたの顔を見たくない」と言われ「死のう」と思うほど、苦しかったと話されました。

本谷量治さんは、被爆時、17歳で、広島鉄道局の印刷工場働いていました。ご自身は目と指にケガを負いました。またお姉さんは、職場で被爆し、口と鼻がたれ、トイレで下血し、17日に亡くなりました。さらにお母さんと弟は、10日から髪の毛が抜け、体中に紫斑が出て、相次いで亡くなりました。「今の世の中、いつ核が使われるかわかりません。なんとか阻止したいといけないと思います」と語りました。



平和行進のペナントを振って「広島からのよびかけ」に賛同の意を表明する参加者

世界から連帯の声

6日の「ヒロシマデー集会」

平和運動各地でも

東京

東京医労連は、8月17日に「夏の平和学習企画」を開催。25人が参加し、東京大空襲（1945年3月10日）について体験者から話を聞き、追体験やフィールドワークを行いました。

東京大空襲では焼夷弾の効果が高めるため、B29は超低空から空襲を行いました。体験談の中では、爆撃機から逃れ、物陰から見えた操縦席の米兵のニヤリと笑った顔が忘れられないという記憶が話されました。追体験では、赤いセロハンを目の前にあてて炎の中の視界を再現したほか、10万人分の集合写真を並べて、当時の被害者数を視覚的に実感しました。フィールドワークでは隅田



慰霊碑の前で参加者の説明を受ける

北海道

道東動医労では、陸上自衛隊最大の矢臼別演習場で行われている訓練の監視行動を続けています。この行動により、榴弾砲が演習場外に着弾し

山形

山形県医労連は、8月6日に山形市・鶴岡市・米沢市で「白衣の平和行動」を実施。全体で8単組24人が参加し、核兵器



山形市内の行動参加者



被爆者・矢野美耶古さん



被爆者・本谷量治さん

脈路

▼漫画「チ。」地球の運動について……って知っていますか？ たしか、NHKでも夜遅くにやっているみたいですよ。拷問されるシーンなんかは結構、グロテスクですけど……この漫画は命をかけて「地動説」という真理を追い求めた人びとの物語であり、時の権力によって「考えること」「語ること」「信じること」すら否定されるなか、それでも諦めずに声をつないでいく姿が描かれています▼登場人物の一人が、こう語ります。「この世のどこかで誰かが、まだ地球が回っているって思っているだけでいい。それで俺たちの『チ』は前に進む」。私はこの言葉に医療・介護の現場から声を上げ、諦めずにたたかう仲間を重ねました。真実を社会に伝え、無関心に抗い、仲間と手をつなぐことは、権力や常識の壁を越えて「世界を前に進める」力です▼私たち医労連は春闘の時期だけでなく、新しいチャレンジに挑み、ストライキを構え奮闘してきましたが、残念ながら結果は十分ではありません。処遇改善の遅れが離職を招き、人材流出が加速……。来年は診療報酬改定の年。介護報酬の期中改定も含めて、この夏からの取り組みが極めて重要。「まだ地球が回っているって思っているだけ」ではなく、組合員の切実な要求を掲げ、誰もが安心して医療・介護を受けられる社会の実現をめざし、来春闘に向けてともに奮闘しましょう。

「もう限界」をかえる

2025年秋闘

いのちまもる キャラバン行動MAP

2025年秋
「もう限界」ケア労働者の大幅賃上げと
いのちまもるキャラバン行動」の目的

- (1) ケア労働者が国民のいのちをまもる担い手として相応しい、他産業とも見劣りしない賃金水準を獲得し、人手不足の解消と長時間労働の規制をめざす
- (2) 憲法改悪・戦争する国づくり阻止、社会保障の充実で安全・安心の医療・介護の実現
- (3) キャラバン行動を通じて組織の強化・拡大につなげる



START

9月3日18:30～

全労連
「25秋闘ケア労働者の賃上げアクション」
スタート集会

QRを読み取って参加ください



25秋闘ワッペン



25秋闘ポスター



24年秋「キャラバン行動」スタート行動の様子 (神奈川)

GOAL

≡ キャラバン行動終結点 ≡

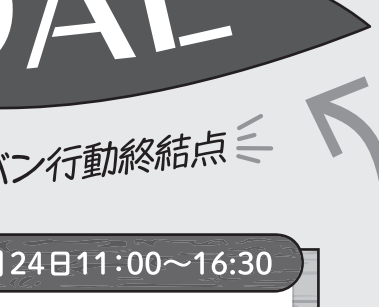
11月24日11:00～16:30

**第16回地域医療を守る運動
全国交流集会**

場 所 (オンライン併用)
平和と労働会館
2階ホール

記念講演
新・地域医療構想と
加速する病床削減
～医療体制の危機を考える～
長友薫輝氏(佛教大学准教授)

※25年度発025号参照



10月11日～13日

**全労連労働運動交流集会
「レバカレ2025」**

※24年度発
195号参照

10月19日～20日

**2025年度
共済推進全国交流集会
福島県磐梯熱海**

※医労連共済発1503号参照

10月24日

25秋闘要求提出期限

10月25日～31日

宣伝行動ゾーン

11月5日

統一回答指定日

11月6日

**ストライキを含む
全国統一行動日**

11月13日～14日

日本医労連対政府中央行動

※詳細は4面に

10月・11月月間の取り組み

10月	不払い労働根絶・年休取得促進月間 学習・宣伝行動と退勤時間調査の取り組みを進めましょう。
10月～11月	母性保護月間 「みんなの権利ノート」の普及・活用をすすめましょう。
10月～12月	組織拡大・共済推進月間
11月	介護を良くするアクション月間

**ケア労働者の大幅賃上げ実現に向けて、
団体署名・一言カードにも取り組もう！**

①「安全・安心の医療・介護提供体制を守るため、すべてのケア労働者の処遇改善につなげる報酬10%以上の引上げを求める要請署名」(目標:3000団体以上)
労働組合や当局(使用者)はもちろん、地域の医療・介護施設、職能団体、事業者団体にも働きかけを行いましょう。

②一言カード
現場の切実な要求を政府や各種団体に届けるために「一言カード」の提出にも旺盛に取り組みましょう。

**【団体署名・一言カードの取り組み期間】
2025年11月末まで**

それぞれのデータは、右記を読み取ったリンク先より



9月6日・7日

**「もう限界☆ケア労働者の
大幅賃上げといのちまもる
キャラバン行動」
全国一斉スタート行動**

9月17日14:00～

**夜勤規制と大幅増員を
めざすアクションプラン
意思統一集会**

QRを読み取って
参加ください



9月25日13:00～

**「もう限界☆平和と社会保障を
立て直せ！9.25
いのちまもる総行動」**

14:40～
パレード

場 所 日比谷野外音楽堂
ゲスト ザ・ニュースペーパー番外編
スローガン

- ① ケア労働者の大幅増員・大幅賃上げ、報酬大幅引き上げ改定を！
- ② 従来の保険証残せ！高額療養費制度改悪を白紙撤回せよ！
- ③ 医療・介護・福祉・保健の現場を守れ！
- ④ 軍事ではなく社会保障の拡充で国民負担を減らせ！

9月6日・7日

**夜勤規制と大幅増員で安全・安心の
医療・介護の実現を求める国会請願署名**
(略称:夜勤規制・大幅増員署名)

取り組み 25年8月～27年通常国会終了まで

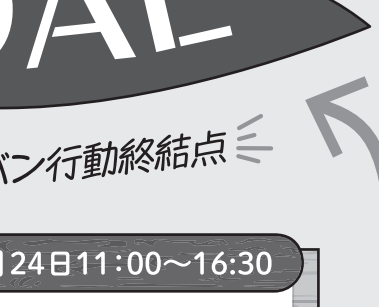
目標数 全体で初年度60万筆以上、2年目に100万筆以上

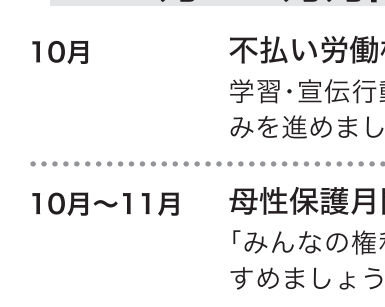
9月25日13:00～

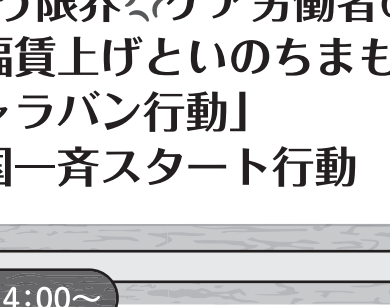
**介護保険制度の抜本改善、
大幅な処遇改善を求める請願署名**

取り組み 25年8月～26年5月末まで

目標数 5万筆







「言いたい劇場」

小菅りや子



11月12日～13日 対政府中央行動

〈1〉医療三単産共闘「11.12国会議員要請・意思統一集会」

主催 自治労連、全大教、日本医労連
日時 11月12日(水) 11時30分～16時30分(予定)
会場 衆議院第1議員会館大会議室
規模 250名
内容 10:45 受付開始
11:30 開会挨拶、基調報告、各団体より取り組み報告、国会議員による情勢報告
行動提起、閉会のあいさつ
13:00 昼食休憩、国会議員要請行動
16:00 財務省前宣伝行動
16:30 終了予定

〈2〉日本医労連「政府要請行動」

主催 日本医労連
日時 11月13日(木) 10時00分～12時00分
※政府要請の各省庁別要請団の割り振り等は、今後、改めてお知らせします。

◎その他、申し込み等の詳細は発第019号をご参照ください。

【パズル解答】1853号の答えは「センキョケン」でした。正解者の中から抽選でクオカードを贈呈します。

【応募方法】①組合(病院)名、②職種、③氏名、④郵便番号、⑤住所を記入し、解答を9/18(木)までにご応募ください。「読者のページ」もご寄稿下さい。

【応募先】〒110-0013 台東区入谷1-9-5
「日本医労連教育宣伝局」
FAX: 03-3875-6270
E-mail: kyosen@irouren.or.jp



37期「共済キャンペーン」の活用を

医労連共済だより

第75回定期大会で承認された「共済キャンペーン」についてお知らせいたします。

〈セツト共済〉

①共済説明会に年6回の助成
②共済説明会で複数の組合員が新規加入した場合、単組・支部へ記念品贈呈

③組織一律共済の加入を検討した単組・支部に助成
④新歓での共済プレゼンへの助成
⑤新歓以降新入職員の新規加入への助成
⑥継続キャンペーン(継続時の型上げ等)

〈自動車共済〉

①自動車共済説明会に年6回の助成
②自動車共済の新規または他社からの乗換え見積りで組合員へ記念品贈呈
③新規または乗換えの見積り20台ごとに単組・支部へ記念品贈呈

すべて申請が必要となります。医労連共済発文書1504号にて詳しい内容と申請書を添付していただきます。参照してください。申請書は、医労連共済のホームページからもダウンロードできますので活用ください。



●看護職員も不足、介護職員も不足。賃上げの波の中、医療介護報酬は厳しくなって時代に逆行している。

(島根・ケイ)

●他施設のいろんな取り組みが見れて勉強になります。

(大阪・ヨビビ)

●「ニッパチ闘争」ってなに？と云う時代になりました。一人一人の声が大切にされる組合運動となるように、活動のスタイルはどんどん変えていってよいと思いますが、歴史に学ぶことは忘れないでほしいと思います。

(新潟・萩山豊作)

●参議院議員選挙をきっかけに周りの人と選挙の話をするが増えましたが、特に若

(秋田・小林真央)

い世代ですが、意外と上の世代でも政治に対する感度や興味が増えました。生活だけでなく仕事としての医療は政治の意向に大きく左右されるものなので、医療の専門職として臨床実践だけでなく政治動向も注意してみたい責任があるんじゃないかと思いましたが、なかなかそういった機運が醸成されないなど課題を感じています。

ザクロスワード 出題▶モロズミ勝

1	2	3	4	5	6
7		8	9		
10		11	12		
13		14		15	
16		17		18	
	19		20		21
22	23		24	25	
26			27		

答え A B C D E F

■ヨコのカギ

- 8月の唯一の祝日
- 血液に毒がある魚類
- あせ。……顔。発……
- ねぶた・仙台七夕・祇園祭・阿波踊りなど
- 湿度が高い。高温……
- 月は昇るし、日は沈む
- ろくろ首も河童も
- 刀剣を……に収める
- ……すれば鈍す
- 雲吞と書く中国料理
- ……台下暗し
- 羽生善治九段の若い頃のトレードマーク
- 周りが敵ばかりという四字熟語
- カトリアは……科植物
- みうらじゅんは……家
- さし絵。説明図

■タテのカギ

- 川遊びなどに使う屋根つきの……船
- 中高層の集合住宅「ひよこ」のことです
- おいしい味
- チリの1月の季節は？
- 首都はアテネ
- 多量の酒を飲むこと
- 手紙を数える単位
- 川に住むイタチ科の獣
- 紫外線を防ぐ眼鏡
- 8月6日は……の平和記念式典
- 手品の……を明かす
- 南太平洋の小さな王国
- 都を他の地に移すこと
- うどんやそばのこと
- 武田信玄の領国の一つ

【問題】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は、なに？

医療の眼

病院給食対策委員会の担当をして7年ほど経過します。7月の定期大会後、ある県医労連の病院給食の学習会に参加させていただき、みなさんから現場の状況を聞かせていただきました。

担当した当初から、人手不足の問題が続いています。「人手が足りないのが普通になっている」「今はよいがこれから数年の間に退職が続いていくことになる。募集をかけても人が入らない。この先に不安がある」などの話を聞きました。対策委員会の中でも、同様の話が常に出ています。

23年度病院給食実態調査では

23年度に行った調査の設問に「職場や職員から出ている問題点」というものがあります。そこでやはり人手不足が一番多い回答となりました。

毎年行っている交流集会でも、人手不足の話題が必ず出ています。

物価高騰の影響も

ここ数年で物価高騰の問題が大きくなっています。普通に生活していても、物価高の影響を感じます。買い物に行っても見切り品でさえ高く感じています。

学習会の中でも、「食

「治療食」を維持していくためにも、早急に対策を

材費が本当に上がっている。前年の三倍になっている」といった話がありました。

23年度の調査に「食材の決め方」の設問があります。7月の定期大会後、ある県医労連の病院給食の学習会に参加させていただき、みなさんから現場の状況を聞かせていただきました。

このまま、食材費が上がる状況が続くことになると、食材の質を落とすことも検討されることになりそうです。療養をされている方々を支える食事提供という病院給食の在り方、そのものに反して恐ろしいのが、食材費の高騰など病院の経営にも大きく影響してきます。経費削減という観点から病院給食を委託するといった問題も出てきます。委託化した病院でも委託料の値上げの問題や委託会社での人員確保困難などの問題もあります。また、その影響で委託会社が撤退する事態が起きています。

厚労省要請では、病院給食対策委員会として、毎年、厚労省要請を行っています。今年も6月下旬に行いました。

昨年度、食材費高騰や水光熱費上昇の対策として、約30年ぶりに「入院時食事療養費」が一食当たり30円、今年度も20円と、この2年で50円も引き上がりました。引き上げそのものは各団体からの要望があったものでもあり、入院時食事療養費

安全・安心の病院給食の提供のために

病院給食を取り巻く環境は、厳しい状況が続いています。食材費高騰などによる経営圧迫や、賃金の安さから職員の退職につながってしまうなど課題はさまざまです。

安全・安心の「治療食」を提供していくためにも、国に対して診療報酬改定や財政支援など責任のある対応を求めたいことが必要となります。なにより、給食の現場で働く職員のモチベーションを上げ、魅力ある職種であることをアピールしていくためにも大幅賃上げ・大幅増員は必要です。

櫻井 順一